

箱からストロボと付属品を取り出し、以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。

ストロボ本体に装着 □コネクターキャップ (MSは3ヶ、MDには2ヶ)

付属品 □保証書 □取扱説明書 □ACコード □シンクロコード

□ヒューズ×3 (グリップハンドル内に収納)

はじめに

このたびは写真撮影用ストロボ、PC-1200MS・PC-1200MD をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。付属の保証書に「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入されている事をご確認下さい。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き十分にご理解の上で活用下さいますよう、お願い致します。お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

安全上のご注意

	危険	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される内容
	警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
	注意	取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容
	警告	
	分解禁止	分解したり、修理や改造をしないでください。 感電したり、異常動作をしてけがの原因になります。メインスイッチを切っても内部には長時間高電圧が蓄積されます。
	使用禁止	以下のような場所では使用しないでください。 空気の流れの悪い、ケース、バッグ、収納棚の中など／湿度が高いところ／水がかかる恐れのあるところ／引火、爆発の恐れのあるところ。／床、地面（発光部） 感電、ケガ、火災の原因になります。
	警告	ACプラグを抜き差しするときは必ずメインスイッチをお切りください。 感電の原因になります。
	発光禁止	発光部の直前にパラソルやトレーシングペーパーなどの燃えやすいものを近づけて発光させないでください。 火災の原因になります。
	発光禁止	人の目に近づけて発光させないでください。 視力障害の原因になります。特にお子様を撮影する場合は1m以上離れてください。
	接触禁止	使用中、直後の放電管、モデリングランプには触らないでください。 やけどの原因になります。高温にご注意ください。
	警告	モデリングランプ、ヒューズは弊社指定と同等のものをお使い下さい。 火災の原因になります。特に大容量のヒューズのご使用はお止め下さい。
	注意	
	感電注意	本体が落下して変形した時、コードの被覆が破損した時は使用をお止めください。 感電の原因になります。弊社営業所へ点検をご依頼ください。

ご使用上の注意とお願い

■SCRやトライアックを使用した半導体式調光機に接続して使用しないでください。
故障の原因になります。

■モデリングランプや放電管は素手で触れないでください。
もし触れてしまった時はアルコール等でよく拭き取ってからご使用ください。
指紋等が付いたまま使用しますと、その部分が白濁し、光量が低下したり、寿命が短くなることがあります。

■モデリングランプ（特に点灯中）には振動を与えないでください。
断線の原因になります。

■長期間使用機会が無い場合、に1～2回は通電する事をお勧めします。
怠ると、メインコンデンサーの寿命が短くなる原因になります。

主な仕様

■電源部		
	PC-1200MS	PC-1200MD
出力エネルギー	1200Ws	
出力灯数	3灯	2灯
出力切換	①②800Ws・③400Ws	均等配分
調光方式	フル～1/6光量までクリック調光	フル～1/4光量までクリック調光
	1 目盛はフラッシュメーターの0.2evに対応	
充電時間 (フル) ※注	2.7秒 (50Hz)	／ 2.4秒 (60Hz)
閃光時間 (1/2ピーク) ※注	H-320 1灯—1/450秒	／ H303 1灯—1/350秒
電源	AC90～110V (50/60Hz)	
大きさ	153×85×125mm	
重さ	2.1 k g	1.9 k g

※注 充電時間、閃光時間は出力に応じて変動します。
上記表示はフル光量時ですが出力を下げると充電時間は早くなり、閃光時間は長くなります。

■発光部		
	H-320	H-303
最大入力エネルギー	2400Ws	1200Ws
放電管	コルツ放電管	ハイパワーカラーコート放電管
モデリングランプ	ハロゲンランプ200W	クリプトンランプ100W
冷却方式	空冷ファン内蔵	
レフレクター	パラソルレフN付 (各種レフ交換式)	
大きさ	140φ×155mm	
重さ	1kg (コード含まず)	1.8 k g

不発光・オーバーヒート警報、ヒューズ切れ

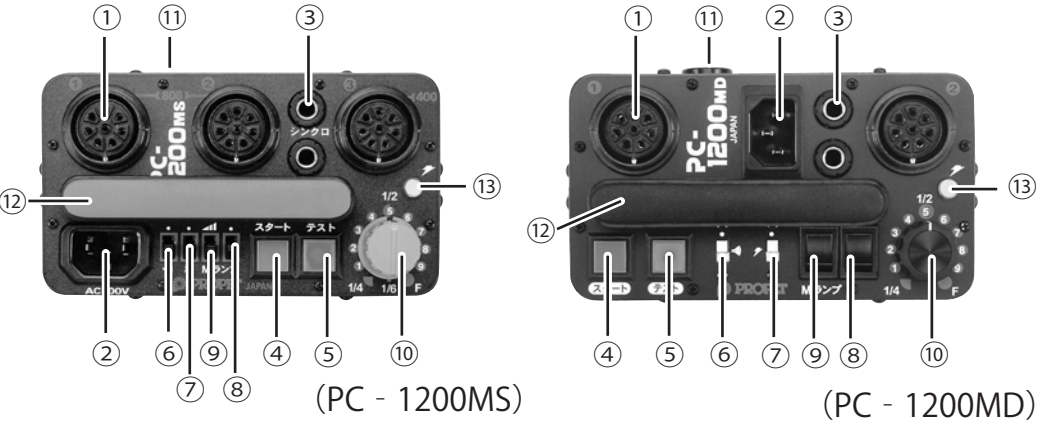
- 不発光警報
何らかの原因で発光しない場合、連続音が鳴り、発光部の接続されているコネクター左上の赤色LEDが点灯します。
再度発光を試みても警報が繰り返される場合は、コネクターに別の発光部を接続してお試しください。原因が電源部と発光部のどちらによるものかお確かめになり、弊社へ点検にお出してください。
- オーバーヒート警報
電源内部の温度が一定以上になると、充電が完了せず、レディーランプが点滅し続け、断続音が鳴り続けます。メインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて、風通しの良い場所で十分冷却してください。
以上の処置を行っても警報が繰り返される場合は弊社へ点検にお出してください。
- ヒューズ切れ
メインスイッチを入れても動作しない場合、モデリングランプが点灯しない場合は側面のヒューズをご確認願います。
その際、必ずメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ヒューズの交換
メインスイッチ切って、ACコードをコンセントから抜いてください。ヒューズホルダーのふたをドライバーを用いてはずし、同じ規格のヒューズと交換してください。ヒューズはストロボ用20A、モデリング用10Aを使用します。スペアのヒューズは取手の上蓋の中に入っています。
たびたびヒューズが切れるようでしたら弊社へ点検にお出してください。

アフターサービスについて

- 保証
保証期間はお買い上げの日から1年間です。
本製品に純正部品・純正または指定のアクセサリ以外のものを使用する事によって生じた故障、事故、及び、本取扱説明書により注意、禁止した事が守られずに生じた故障、事故については一切の責任を負いかねます。また、消耗品類（放電管、ハロゲンランプ、電解コンデンサー、雲台など）は保証の対象となりません。
- 修理点検のご依頼について
異常が発生した時はお求めの販売店、あるいは下記の弊社各営業所にご依頼ください。
なお、修理には、本体、コード類をセットにしてお出してください。保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。
- 修理品をお受け取りになる時は
修理完了品に添付されている修理伝票には修理内容が明記されておりますのでご確認ください。また次回の修理の際に必要となる場合もございますので大切に保存してください。

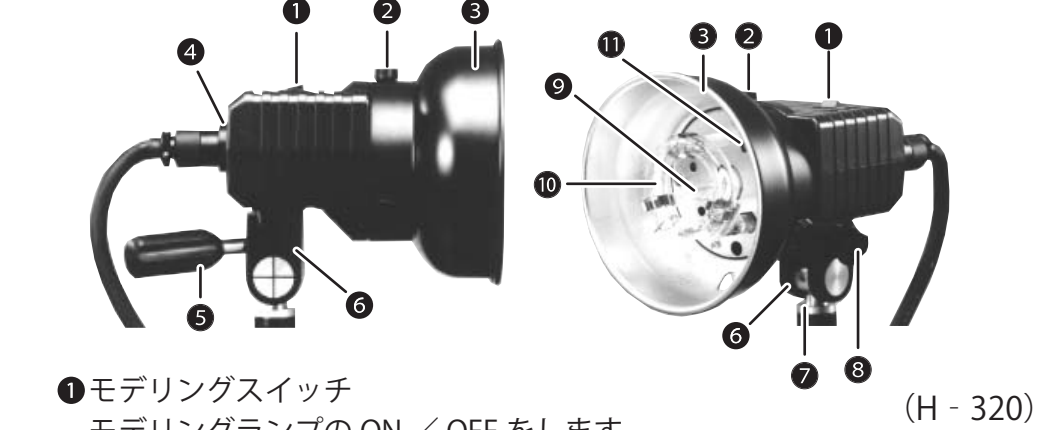
各部の名称とはたらき

■電源部



- ①発光部ソケット
MS には 3 つ、MD には 2 つあります。
- ②AC 入力ソケット (AC100V)
- ③シンクロコンセント (X)
ジャックタイプが 2 つあります。
- ④スタート (メイン) スイッチ
- ⑤テストスイッチ (チャージランプ)
充電完了すると点灯します。その後ボタンを押すと単独発光します。
- ⑥サウンドスイッチ
ON にすると充電中「ピッピッ」という音がし、充電完了で止まります。
- ⑦センサースイッチ
ON にすると他のストロボの光を受けて同調発光します。
- ⑧モデリングスイッチ
モデリングランプの ON / OFF をします。
- ⑨モデリングバリエータースイッチ
モデリングランプの明るさを調光とフルに切り換えます。
- ⑩出力バリエーター
調光ができます。MS は FULL ～ 1/6、MD は FULL ～ 1/4。
- ⑪ヒューズ
15A が入っています。
- ⑫グリップハンドル
スペアのヒューズ (15A) が 3 ケ入っています。
- ⑬センサー

■発光部 (H - 320 / H - 303)



- ①モデリングスイッチ
モデリングランプの ON / OFF をします。
- ②レフ止めネジ
- ③レフレクター
パラソルレフ N が付属しています。各種レフと交換可能です。
- ④ソケット
発光部コードで電源部と接続します。
(H - 320 のみ。H - 303 は発光部・コード一体型です。)
- ⑤パーン棒
- ⑥雲台
- ⑦ダボ
- ⑧パラソル固定ネジ
心棒の直径 6 ～ 8mm のパラソルが使えます。
- ⑨モデリングランプ
H - 320 はハロゲンランプ 200W を使用します。
H - 303 はクリプトンランプ 100W を使用します。
4 面ライトカッター等前面にアクセサリーを使うときはそれぞ
れのランプを 60W に付け替えてお使い下さい。
- ⑩放電管
ブロック交換式です。
最大入力エネルギーは、H - 320 が 2400Ws、H - 303 は
1200Ws です。
- ⑪放電管ブロック止めネジ
放電管ブロックを交換するときは外します。

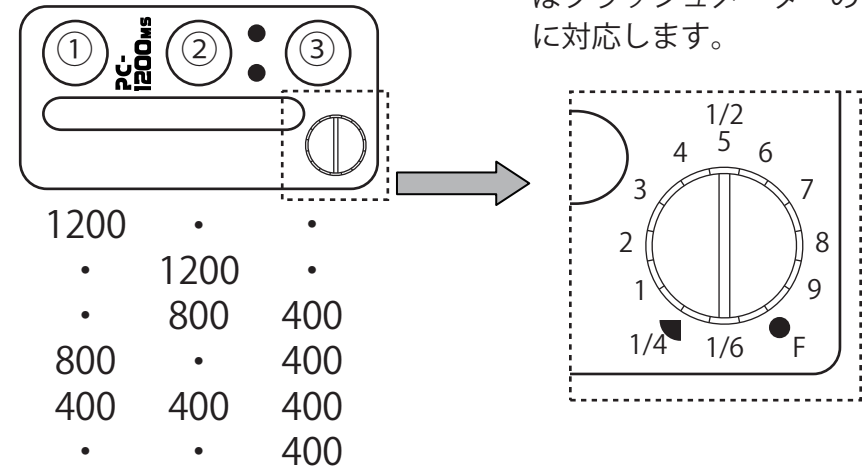
基本操作

- 1. 発光部をセットします。
パーン棒⑤をねじ込みしっかり固定します。
ダボをスタンド、パンタ等のダボ受けにしっかり固定します。
- 2. 発光部コードを接続します。
発光部コードを電源部の発光部ソケット①に接続します。
(H - 320 はコード着脱式なので、コードのもう一方を発光部のソケットに差
し込んでください。) 必ず固定リングを回し、締め付けてください。
- 3.AC コードを接続します。
スタート(メイン)スイッチ④が OFF になっていることを確認して入力ソケッ
ト②と AC コンセントを接続します。
- 4. シンクロコードを接続します。
シンクロコードはジャックタイプを使用します。コンセント③は 2 口ありま
すが、どちらを使用しても同調します。カメラを複数台お使いの場合それぞ
れに接続してご使用ください。
また、他のストロボの光を受けて同調発光させるには、センサースイッチ⑦
を ON にします。シンクロコード、その他同調装置を使う場合は OFF にし
て下さい。直射日光の当たるところでは作動しない事もあります。
- 5. スタート (メイン) スイッチを ON にします。
テストスイッチ (チャージランプ)⑤が点灯したら、充電完了です。⑤を押し
てテスト発光し、全灯発光する事を確認して下さい。また、カメラのシャッ
ターを切って同様に確認してください。
- 6. モデリングランプを点灯します。
発光部のモデリングスイッチ①を ON にし、電源部のモデリングスイッチ⑧
を ON にすると接続している全ての発光部のモデリングランプが点灯しま
す。個々に消灯するときは発光部それぞれのモデリングスイッチを OFF に
します。電源部のモデリングバリエータースイッチ⑨を ON すると、モデリ
ングランプの光量出力バリエーターに比例します。OFF にすると、常時フ
ル光量になります。
- 7. 発光準備完了です。
裏面に記載してある「安全上のご注意」「使用上の注意とお願い」を守って
正しくお使い下さい。

調光・出力切換

■PC - 1200MS

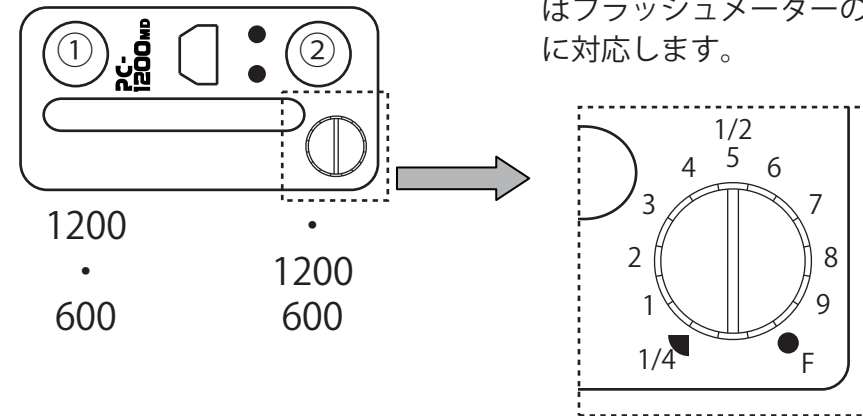
出力は発光部コードの脱着に
よる自動切換です。



調光はフル～ 1/6 で 12 段階ク
リックストップ式です。1 目盛
はフラッシュメーターの 0.2ev
に対応します。

■PC - 1200MD

出力は 2 灯均等配分です。



調光はフル～ 1/4 で 11 段階ク
リックストップ式です。1 目盛
はフラッシュメーターの 0.2ev
に対応します。